

「考えてみませんか?～多様な性と生き方～」

「女の子なんだから、料理や裁縫を学びなさい」
「彼女いるの?結婚願望はあるの?男は家庭を持ってこそ一人前だからね」
皆さんは、この発言についてどう思いますか?

〈からだの性〉によって、「してよい」とされることや、することが「普通」とされることが決められ、自由な選択がしづらいことがあります。その背景には、「人間は男性と女性の2つに分けられ、性別によって求められる振る舞いや性質は異なる」という固定観念があります。また、多くの人々が、「恋愛の対象やパートナーは異性であり、結婚・出産や子育て、血縁関係が重要視される」といった考え方のみを前提としているからです。

実際には、性のあり方には、〈からだの性〉〈こころの性〉〈表現する性〉〈恋愛対象の性〉の4つの指標があり、その要素の組み合わせは、人の数だけあると言われています。そして、性のあり方にかかわらず、全ての人が個人として尊重され、人間らしく生きる権利があります。

誰もが自分らしく生きられる社会を目指すためには、多様な性のあり方や生き方を前提とした考え方を持つことが大切です。日々の生活の中で、私たち一人ひとりが無意識のうちに備えている「当たり前」や「普通」という考え方を見つめ直してみませんか?

【今日から私たちができること】

- ・大切な人を「パートナー」と呼ぶなど、性別や関係性を限定しない表現を試してみる。
- ・男/女なんだからなど、性別による固定的な役割を押し付けない。
- ・多様な性のあり方について、正しい知識を身につける。
- ・多様な人の存在が社会をつくっているという意識を持つ。

※それいゆぶらざ(女性センター)では、多様な性のあり方や生き方についての図書を取り揃えております。ぜひお気軽にご利用ください。

